

令和8年度（2026年度） 長野吉田高等学校「学校目標」

I 目指す学校像

「文武両道」の伝統を受け継ぎ、人権尊重の精神を基礎とし、創造性と自発性を発揮し、生徒一人ひとりが自己実現できる学校を目指す。また、地域から期待される進学校であることをふまえ、生徒への支援体制をより整備し、生徒一人ひとりの進路実現を目指す。

II 中期的教育目標

創立百十年を超える歴史をふまえ、地域社会から求められている使命を自覚し、生徒個々の多様な能力を最大限に伸ばさせ、生徒が希望する進路を実現できるよう以下のことを目標とする。

1 確かな学力の向上と進路実現

- (1) 幅広い知識と教養を身につけた優れた人格を育成する。
- (2) 基礎・基本の確実な定着と進路実現のための学力向上を図る。とりわけ現役大学進学率、国公立大学・難関私立大学への合格率の向上を図る。
- (3) 「文武両道」を奨励し、調和のとれた人格を陶冶し、キャリア教育を通じて、広く社会において活躍できる人材を育成する。

2 基本的生活習慣の確立と人権意識の涵養

- (1) 集団生活（学校）の規律を遵守し、社会規範意識の向上を図る。
- (2) 共生、思いやりの心を育てる。
- (3) 挨拶、清掃、整理・整頓、時間厳守等の指導の徹底を図る。

3 自主的精神の高揚と自主活動の充実

- (1) 学校行事を有効に活用し、生徒の自主的な活動を促すとともに健全な人格の育成を図る。
- (2) 健康で健全な体力及び気力を有し、責任をもって行動できる人材を育成する。

III 今年度の重点目標

1 ICT 機器の活用を進め、生徒が自主的に目標をもって学び、意欲的に進路実現を目指す学習・進路指導を行う。

- (1) 本校生徒全体の学力向上を目指し、生徒自身が、明確で具体的な学習目標をもつことができるような教科指導・進路指導を行う。
- (2) 夏期講習、学習合宿、補習、個別指導・小論文指導等を充実させ、生徒個々の希望や実情に応じた進路指導を行う。
- (3) 生徒が自発的に家庭学習時間を増やすよう、学校全体で取り組む。
- (4) 大学入試の多様化をふまえ、個々の生徒の適性が生かせるよう進学指導を充実させる。

2 命と人権を大事にし、いじめや体罰のない学校生活を通して、共に生きる心の育成や社会的規範意識を高揚させる生徒指導を行う。

- (1) 明るい挨拶を励行し、節度ある身だしなみ、身の回りの整理・整頓、時間の厳守、公共の場におけるマナーを実践しながら、良好な人間関係の形成を図れる人格を育成する。
- (2) 生活環境等の整備(清掃活動の徹底・ゴミ削減・節電等)に、生徒が主体的に取り組めるようにする。

3 生徒会活動、クラブ活動に意欲的に取り組むように生徒を育て、支援する。

- (1) 生徒会活動への生徒の取り組みを指導・支援し、一人ひとりの責任感を育み、主体的に活動に関わっていく姿勢を育てる。
- (2) クラブ活動においては、活動目標を掲げそれを達成できるようなクラブ指導を行う。また、指導過程においては、生徒本人、保護者、担任と連絡を密にして指導にあたる。

4 将来の生き方・働き方を考え、選択・決定する上で必要な、基本的な能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す。

- (1) 進路学習・探究学習・各種講演会等を通じて、自らの生き方をデザインしていく姿勢を育成する。
- (2) 就労体験や校外で学ぶ機会についての選択肢を充実させ、他者と協働しながら社会に参画していく姿勢を育成する。